

令和8年度熊本県高等学校総合体育大会弓道競技大会実施要項

- 1 大会名 令和8年度熊本県高等学校総合体育大会弓道競技大会兼全九州高等学校体育大会・全国高等学校総合体育大会県予選
- 2 主催 熊本県高等学校体育連盟・熊本県教育委員会
- 3 後援 熊本県弓道連盟
- 4 主管 熊本県高等学校体育連盟弓道専門部
- 5 期日 (1) 監督会議 個人・団体競技：令和8年5月23日(土) 8時50分～
(2) 競技 個人競技：令和8年5月23日(土)
団体競技：令和8年5月30日(土)～31日(日)
(3) 表彰式 令和8年5月31日(日) 14時30分～
- 6 会場 熊本市植木弓道場(熊本市北区植木町岩野238-1 Tel096-272-3991)
- 7 競技内容 競技の種目、種別、種類および規格は次のとおりとする。
(1) 種目 近的競技
(2) 種別 男子の部・女子の部
(3) 種類 個人競技・団体競技
(4) 規格 的は36cm霞的とする。ただし、個人競技決勝の射詰5射目以降は24cm星的を使用する。
(5) その他 個人競技は4射場12人立、団体競技は2射場10人立とする。
- 8 競技日程

| 月 日 (曜) | 時 間 | 種 別 ・ 種 類 等 |
|------------------------|---------------|----------------|
| 5月23日 (土) 【個人】 | 8:15 ~ | 受付開始 |
| | 8:30 ~ 8:45 | 役員打合せ |
| | 8:50 ~ 9:05 | 監督会議 |
| | 9:15 ~ 9:30 | 開会式・優勝旗返還(女・男) |
| | 9:50 ~ 14:30 | 男子・女子個人予選 |
| | 14:40 ~ 15:20 | 男子・女子個人準決勝 |
| | 15:30 ~ 16:30 | 男子・女子個人決勝 |
| | 16:40 ~ 17:00 | 個人競技表彰式 |
| 5月30日 (土) 【団体予選】 | 8:15 ~ | 受付開始 |
| | 8:30 ~ 8:45 | 役員打合せ |
| | 9:00 ~ 11:15 | 男子団体予選1立目 |
| | 11:15 ~ 13:30 | 女子団体予選1立目 |
| | 13:30 ~ 15:45 | 男子団体予選2立目 |
| | 15:45 ~ 16:05 | 男子団体決勝リーグ進出競射 |
| | 16:05 ~ | 男子団体決勝リーグ抽選 |
| | 16:05 ~ 18:20 | 女子団体予選2立目 |
| 18:20 ~ 18:40 | 女子団体決勝リーグ進出競射 | |
| | 18:40 ~ | 女子団体決勝リーグ抽選 |
| 5月31日 (日) 【団体決勝】 | 8:30 ~ 8:40 | 役員打合せ |
| | 8:40 ~ 8:55 | 監督会議 |
| | 9:20 ~ 14:20 | 男子・女子団体決勝リーグ戦 |
| | 14:30 ~ 14:50 | 団体競技表彰式 |

※ 注) 上記の時刻は、予定の時刻であり、参加チーム数、進行状況によって変更になる場合がある。

- 9 競技規則 (公財)全国高等学校体育連盟弓道競技規則(必携)「2026 発行」及び本大会実施要項による。
- 10 競技方法 (1) 個人競技および団体競技は、次のとおりとする。
- ア 個人競技
- ① 予選は、男女とも各自4射を行い、的中数3中以上の選手を予選通過とする。なお団体の補欠の選手についても個人予選への参加を認める。
 - ② 準決勝は、男女とも各自4射を行い、的中数3中以上の選手を決勝進出とする。
 - ③ 決勝は、射詰競射により上位から順位を決定する。射詰競射の5射目以降は、24cm 星的を使用する。的中を逸した同位者は、優勝・準優勝決定以外は遠近競射(36cm 霞的)で順位を決定する。
- イ 団体競技
- ① 予選は1チーム単位により、各自4ツ矢2回8射(立射)を行い、的中数上位より7チームを予選通過とする。
 - ② 決勝戦は予選通過7チームのリーグ戦とし、各自4射計20射により行う(立射)。
- (2) 団体競技において同中の場合は、各自1本ずつの競射を行い、勝敗を決定する。(競射の1本目は、替矢を使用する。)
- (3) 矢返しは、4ツ矢終わるごとに行い、1本ごとの矢返しは行わない。
- (4) 競技時間の制限
- ア 競技時間は、本座における進行係の合図によって始まり、最後の射手の最後の弦音で終わる。
- イ 団体競技の行射制限時間は1チーム**6分30秒**とし、**6分**で予鈴を鳴らす。
- ウ 弦切れ、その他の事故が生じても時間の延長はしない。
- エ 個人競技および1射ずつの競射については、進行係又は、審判員の指示に従うこと。
- (5) 行射
- ア すべて立射で行う。
- イ 個人競技においては、遅くとも前立ちの弦音で打ち起こすこと。
- (6) 変更及び交代
- [選手]
- ア 申込書に記載した立順の変更は認めない。また、申込書に記載した登録選手以外の変更は認めない。(個人及び団体共通)
- イ 団体競技の先発メンバーは登録順に5名とし、予選においては、団体予選の選手変更受付時間(**午前8時20分まで**)に選手変更することができ、それ以降に1回の交代を認める。
- ウ 決勝リーグにおいては、監督会議の際に変更することができ、競技開始後2回の交代を認める。
- エ 変更及び交代は1回につき2名までとする。したがって交代した選手の再出場はできる。
- オ 変更及び交代は所定の用紙に記入し、監督が届け出るものとする。交代届は第3控に入る前までとする。
- カ 所定の交代をした後、選手に事故が生じ欠場する場合は、欠員のまま団体とする。
- キ 個人選手の変更・交代は認めない。

〔監督〕

ア 監督の変更は、選手が第3控に入る前までに文書により、原則として新監督が届け出ること。

イ 生徒の監督代行は、当該校の監督が本大会の役員を兼務する場合に限り認める。

11 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
- (2) 選手は、本連盟加盟校の生徒で、本競技実施要項により参加の資格を得たもの。
- (3) 年齢は、平成19年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チームの編成において、全日制課程と定時制課程、通信制課程の生徒の混成を認めない。
- (5) 広域通信制高等学校の参加にあたっては、以下のとおりとする。
 - ① 広域通信制高等学校の加盟にあつては、全国高等学校体育連盟が示す「広域通信制高等学校本校及び連携校等の都道府県高体連への加盟について（平成26年5月20日全面改定）」を適用する。
 - ② 大会の参加は原則として、熊本県高等学校体育連盟定時制・通信制総合体育大会とする。
 - ③ 運動部活動が教育活動の一環として、日常継続的に顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間帯等の運営が適切であること。
 - ④ ③に伴い全日制大会参加の特例として、運動部活動が可能な学校に在籍し、かつ日常的に県内で練習等の活動が行われていること。
- (6) 複数校合同チームについては、本連盟が定める「複数校合同チームの大会参加規程」に従う。
- (7) 転校・転籍後6カ月未満の生徒の参加は認めない。(外国人留学生もこれに準じる。)ただし一家転住等のやむを得ない事由による場合は、弓道専門部で調査し、県高等学校体育連盟会長に諮る。
- (8) 参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
- (9) その他の事項については、全国高等学校体育連盟規定、九州高等学校体育連盟規定の参加資格に準ずる。

(10) 参加資格の特例

ア 上記(1)に定める生徒以外で(2)～(6)の大会参加資格を満たし、かつ、県高体連が承認した生徒を、「大会参加資格の別途に定める規程」に従い、大会参加を認める。

イ 上記(3)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒は、同一競技3回限りとする。

12 参加制限

- (1) 1校より男女各1チーム以内、1チームの編成は監督1人、選手7人までとし、選手4人未満は個人としての出場とする。個人競技に出場する選手は団体競技に申し込んだ選手または申込書において4人未満での出場申し込みを行った選手とする。(団体競技と個人競技の登録は同一の選手とする。)
- (2) チームの先発メンバーは申し込み記載順に5人とする。

13 引率・監督

- (1) 引率責任者は当該校の教員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届け出る。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合はスポーツ安全保険（傷害、賠償責任保険等）に必ず加入することを条件とする。

14 個人情報及び肖像権の取扱い

本大会の参加申込書等によって取得した個人情報の取扱いについては「熊本県高等学校体育連盟個人情報保護方針」に、また、本大会における競技者及び指導者並びにその他の関係者の肖像の取扱いについては「熊本県高等学校体育連盟肖像権の取扱規程」に基づき、取り扱うものとする。

なお、参加申込書の提出をもって、これらの取扱いに関して参加者生徒及びその保護者の承諾を得たものとして対応する。

15 参加申込

(1) 申込書類

参加申込書 (PDF ファイル) 1 部、参加申込書 (Excel ファイル) 1 部

(2) 申込方法

参加申込書を作成し、所属長印を押印したものを PDF 化する。

参加申込書の PDF ファイルと Excel ファイルをメールで提出する。

※ファイル名は「○○ 学校名 (総体)」とする。[○○は学校番号 (半角)]

「00 学校名 (総体).pdf」「00 学校名 (総体).xlsx」

※電子データ (E-mail) によって参加申込書を下記申込先あて送信すること。

※参加申込書の原本は各自で保管する (郵送は不要)。

(3) 申込先

〒862 - 0953 熊本市中央区上京塚町 5 番 1 号

熊本県立熊本工業高等学校 光永 裕二 あて

(E-mail : mitsunaga-y-rn@mail.bears.ed.jp)

(4) 申込み締切日

令和 8 年 5 月 8 日 (金) 必着

(5) 注意事項

参加申込書 (PDF ファイル) と参加申込書 (Excel ファイル) による申込みの両方の確認をもって、申込み完了とする。

16 参加料

(1) 加盟校 500 円 × エントリー人数

(2) 非加盟校 (高等専門学校等) 1,000 円 × エントリー人数

(3) 納入方法 (R7 より振込口座を変更しましたのでご注意ください)

ア 学校ごとに取りまとめ、加盟校及び非加盟校とも参加申込みと同時に下記口座に振り込むこと。振込手数料は各学校の負担とする。

イ 振込先

| | |
|------|----------------------|
| 金融機関 | 肥後銀行 |
| 支店名 | 八代駅前支店 (店番号 255) |
| 口座番号 | 普通 1889306 |
| 加入者名 | 熊本県高体連弓道専門部 委員長 光永裕二 |

ウ 振込依頼人の名前は学校名とし、最初に学校番号をつけること。

(例: 01 セイセイコウコウコウ)

17 表彰

(1) 団体競技は男女第 3 位まで、個人競技は男女第 6 位までにそれぞれ賞状を授与する。

(2) 団体優勝には優勝旗を授与する。

18 諸会議等

(1) 役員打合せ、監督会議は「8 競技日程」中に記載。

(2) 各学校の監督は、全員必ず個人競技および団体競技とも第一日目の監督会議に出席すること。

19 全国大会・九州大会の出場権

- (1) 本大会の団体競技1位の学校を全国大会の、1位と2位の学校を九州大会の、それぞれ出場校とする。
- (2) 本大会の個人1位および2位の選手を全国大会の、また個人1位から5位までの選手を九州大会の、それぞれ個人競技出場者とする。

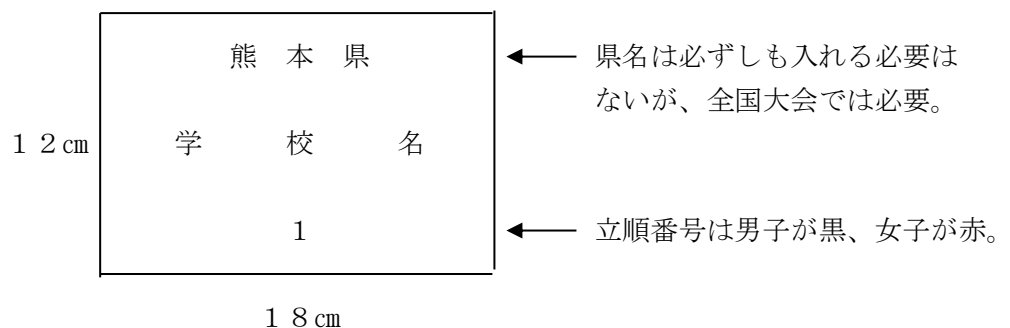
20 立 順 弓道専門委員会において決定し、大会前に各学校に通知する。

21 感染症対策について

- (1) 以下のことを踏まえ、大会での対応等に特別な変更がある場合には、専門部から参加校へ別途連絡する。
 - ア 文部科学省及び熊本県教育委員会の通知等
 - イ 当該競技中央団体等のガイドライン等
 - ウ 開催地域の感染状況
- (2) 各学校は、大会前及び大会期間中の大会参加者（関係職員、関係生徒等）の健康観察を行うなどし、体調管理に努めること

22 連絡事項

- (1) **今年度は男子から競技開始となります。間違いないようにしてください。**
- (2) 競技の服装は弓道衣、袴、白足袋とする。袴へ刺繍等により校名・氏名を入れる場合は右腰後ろにする。
- (3) 鉢巻を使用する場合、無地で長さは肩までとする。なお、校名・校章・氏名に限り入れてよいが場所は鉢巻の端とする。
- (4) 応援席での応援は可能。ただし、応援席への入場は自校が引くときのみとする。また、チームの「横皆中」による拍手を禁止する（全国高体連弓道専門部の通知による）。
- (5) 弓に照準の目印等をつけてはいけない。
- (6) 監督は当該校の校長が認める指導者とし、監督不在のチームは出場を認めない。
- (7) 監督は選手とともに入場し、所定の席に着くものとする。ただし、監督が競技役員を兼務する場合に限って、その代理の入場を認める。
- (8) 場内入場の控えに遅れたときは、その立ちに限り棄権とみなす。
- (9) 選手は必ず下記の仕様のゼッケンを用意し、行射の際右腰前に着用すること。
なおこの番号は選手の登録番号でもあるので、選手が交代してもゼッケンをつけかえてはならない。定められたゼッケンを着用せずに行射した選手の成績は参考記録扱いとなるので注意すること。



- (10) 選手は四ツ矢のほか、替え矢を持参のこと。
- (11) 磔(ゆがけ)のひもは危険防止のため小さく結び、止め具の使用は禁止する。
- (12) 危険防止のためと第3控えの弓具の点検で違反等がないように、監督は事前に選手の弓具の確認をしておくこと。
- (13) 競技中の選手のフラッシュ撮影は禁止とする。